

会 議 録

会議名		令和2年度 第4回 大野北地区まちづくり会議				
事務局 (担当課)		中央区役所 大野北まちづくりセンター 電話 042-861-4512				
開催日時		令和2年11月24日(火) 19時00分～20時25分				
開催場所		大野北公民館 大会議室				
出席者	委員	18人 (別紙のとおり)				
	その他	1人 公民館館長代理				
	事務局	1人 まちづくりセンター主査				
公開の可否		可	不可	一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部公開不可の場合は、その理由						
会議次第		1 あいさつ 2 意見交換 まちづくりを考える懇談会を振り返って 3 出席委員からの情報提供 4 その他 次回日程について 5 閉会				

審 議 経 過

1 開 会

山口会長あいさつ

(以後進行は山口会長)

2 意見交換

先月開催されたまちづくりを考える懇談会を振り返っての意見交換を行った。

別紙に記載の「テーマに対する市側の取組状況の説明について」、「懇談会全体を通しての感想等」及び「次年度のテーマについて」を主な振り返りの内容とし、委員から意見をいただいた。

<主な意見> (○委員の発言 事務局の発言)

- テーマに対する市側の取組状況の説明について、具体的な回答をいただけなかったと認識している。公共施設の再整備については、きちんとした計画をもって取組むべきであり、その計画を基に、予算化して実行していくことが行政の役目ではないかと感じた。
- 今後策定されるという行財政構造改革プランについてであるが、自分の記憶が確かであれば、平成30年度版の「予算事始」の冊子中には、相模原市の財政状況は、政令指定都市の中でも比較的健全であると記載されていた。2年間で何が変わってしまったのかが理解できない。自分の勉強不足の面もあるが、以前行った説明と何が変わったのか一定程度の説明責任があると考ええる。
- 市の担当部局の説明では、公共施設の老朽化については、承知しているものの市民検討会の検討結果との整合を図る関係もあり、結果が出るまでは対応は困難であるとのことであった。また、市民検討会は、年内には再開したいとのことであったが、検討期限について、具体的な発言はなかった。しかしながら、市長は、淵野辺駅周辺については、南北一体のまちづくりが重要であること、また、市民検討会については、できれば期限を設けて行わなければならないと発言したと承知している。公共施設の再整備については、話が出てから4～5年動いて止まってしまった印象があるが、根気強く訴えていくべきと考ええる。
- 市民検討会で再整備の方向性を共有したところ、大きく4つの検討パターンに分類・整理されたとのことであるが、これに対してまちづくり会議からも意見を出してみるのも一案ではないか。
- 自分は、市民検討会の委員でもあるが、市民検討会を年内に再開したいということに伴い、先日、市から日程調整の連絡があった。また、長期間開催されていなかったことから、振り返りの説明会も事前に開催するとのことである。まちづくり会議としては、以前から再整備に係る市の考えを聞きたいと訴えているが、市民検討会においては、公共施設の複合化による効率アップを念頭に検討してもらいたいと考えている。
- どこの部署にどのようなアプローチをすれば予算化できるのかについても検討すべきではないか。
- 行財政構造改革プランについては、前の委員も発言していたが、そのとおりである。市長が変わったので明らかにしたのではないか。懇談会で市長は、就任1年目で行財政構造改革プランに着手するのは厳しいと他市の首長から言われたが、逃げずに取り組みたいとの発言があった。やってくれるものと期待している。

- 公民館・図書館は、老朽化が進んでいる。特に図書館については、造りが時代遅れであると感じており、近隣の市では立派な造りの図書館もあるので、この点も考慮したうえで検討を進めてもらいたい。
- 自分も市民検討会の委員として参加している。市民検討会は、関係団体から推薦された委員と一般公募の委員で構成されているが、委員の中には、公共施設の再整備について推進派の委員もいればそうでない委員もいる。また、市民検討会という性質上、再整備の原案なども市から示されないため、市民検討会で出された意見により選択肢の幅が広がりすぎ、收拾がつかない状態になっているようにも感じられる。
- 公共施設の再整備に関することについては、何年も前から懇談会のテーマになっていると認識しており、このことが初めて懇談会のテーマになった時には、図書館などの公共施設が新しくなるものと期待が高まった。現在の図書館は、学生に聞いても魅力的に感じられないとのことである。公民館についても老朽化が進んでいるため、自分を含め利用者は、皆丁寧に使用している。しかしながら、数年前から動きが止まってしまったようであり、今回、懇談会に初めて参加してみて、現状が何となく理解できた。
- やはり、期限は決めて検討すべきである。市民検討会の傍聴は可能なのか。傍聴は可能である。
- 懇談会で市長は、若い力があるのは大野北地区の特徴であり、このことは、他の地区より優れているとの発言があった。例えば、地区内の若い力を使って鹿沼公園の池の水をきれいにすることも一案と考える。
- 確かに児童交通公園の設備は古く、ひと昔前のような施設という印象を受ける。また、夜の鹿沼公園は暗く、防犯上も問題があるのではないかと感じているところでもある。しかしながら、駅の近くにあれだけの面積を有する公園は、首都圏の中でも珍しいのではないか。財政が厳しいのは承知しているが、「ない袖は振れない。」という状況の中では、何を要求しても通らない。であれば、シビックプライドを揺さぶるような働きかけしないと実現しないのではないか。
- 数年前にまちづくり会議の委員を引き継いだが、その時には既に具体化しているものと理解していたのにあまり進んでいないという印象である。時間とともに老朽化も進んでいるので、早く実現するよう期待している。
- 当初の計画では、オリンピックの開催の頃には、建設に着手している時期であると承知していたが、市民検討会が立ち上がり、ゼロベースで再検討し始めた印象である。このまま10年、15年待たないといけないのか。
- 別の例えになってしまうが、消防団の詰所についても築30～40年が経過し、老朽化が進んでいるが、建替えがすぐ実現しないのが現状である。しかし、行政側に何度も働きかけ、車両の更新や真に必要な部分の改修などを行っていただき、何とか運営している。規模は異なるが、公共施設の再整備についても、継続した働きかけと積み重ねが必要ではないか。
- 大野北公民館は、築40年以上が経過しており、自分が小学生の頃から変わっていない。隣の町田市の忠生地区の市民センターは新しく使い勝手も良い。公民館は、自分が子供の頃から変わっていないのは懐かしくもある反面、老朽化に対応できていない現状が残念であり、正直、複雑な気持ちである。
- 今回、懇談会に参加させていただき、市に要望が上手く伝わっていないという印象を受けた。施設の老朽化については、地震などの災害時にも影響があると思うので、災害対応の観点からも再整備を検討していただきたい。

- 淵野辺駅周辺のまちづくりについては、当初、南北一体で検討して欲しいと申し入れたが、市からは、先ずは南口から行いたいと回答があり、地元も一定程度の理解を示したものと承知している。平成29年12月に基本計画(案)が公表され、やっと、動き出すものと期待したが、一昨年の3月に某テレビ局が取材に来て、この件が取り上げられてから、一気に失速してしまった。その後、市民検討会が立ち上げられて検討が進められているとのことであるが、検討会では様々な意見が出すぎてしまい、まとまりがつかなくなっているのではないか。このような状況の中、今回の懇談会のテーマについては、敢えて去年と同じテーマにすることで踏み込んだ議論になるかと期待したが、期待外れであった。市は、財政難を盾に具体的な方針を示さないが、要はやり方ではないか。真に必要な事業として位置付けるのであれば、国の補助制度などを利用して実施できると考える。市長は、「地方に出かけた際には、相模原市から来ました。相模原を是非全国にアピールしてください。」とよく発言されるが、そう言われるのであれば、その発言に相応しい他市に誇れるような立派な施設を造るべきである。市には、もっと真剣に淵野辺駅周辺のまちづくりに取り組んでいただきたい。なお、振り返りの内容として「次年度のテーマについて」と記載されているところであるが、これについては、委員の皆さんに事前に考えておいていただきたい。
- 民生委員児童委員協議会の定例会をこの場所で毎月開催しているが、新型コロナウイルスの影響により収容人数が大幅に制限されてしまったことから、定例会を2回に分けて行わなくてはならない現状となっている。せめて、民生委員が一堂に会して会合ができるよう施設(大会議室)を改修していただきたい。

3 出席委員からの情報提供(大野北第2高齢者支援センター 木幡委員)

大野北第2高齢者支援センター季刊誌が発行されたので紹介させていただく。今年度、3回目の発行である。今号については、在宅の高齢者を狙った悪質商法に関する記事を1面に掲載していることから、市消費生活総合センターの作成した「消費生活見守り&訪問販売お断りシール」を添付させていただいた。

4 その他

次回日程について、令和2年12月22日(火)午後7時から開催予定(議題等がない場合は、中止)である旨を事務局から報告した。

5 閉会

小川副会長が閉会

以上

令和2年度 大野北地区まちづくり会議委員出席者名簿

	氏名	所属団体等の名称	出欠席
1	山口 信郎	大野北地区自治会連合会	出
		大野北地区社会福祉協議会	
2	飯田 秀雄	大野北地区自治会連合会	出
3	林 知治	大野北地区自治会連合会	出
4	脇山 寿満子	大野北地区民生委員児童委員協議会	出
5	小野澤 行雄	大野北地区社会福祉協議会	出
6	小川 紳夫	大野北公民館	出
7	田加井 政男	交通安全協会	出
8	荻原 ますみ	大野北地区交通安全母の会	欠
9	原田 武久	大野北地区老人クラブ連合会	出
10	安藤 貴光	相模原市消防団中央方面隊第三分団	出
11	竹内 重男	さがみはら国際交流ラウンジ運営機構	欠
12	小方 明	大野北青少年健全育成協議会	欠
13	高橋 美保	青少年指導委員大野北地区協議会	出
14	村田 明夫	スポーツ推進委員大野北地区協議会	出
15	柴沼 敦子	小学校	欠
16	馬場 尚子	中学校	欠
17	小出 茂	小・中学校PTA	出
18	平井 昇	青山学院大学	欠
19	河本 真治	桜美林学園	出
20	白石 一郎	麻布大学	出
21	神谷 恵子	福祉グループ「輪」	出
22	伊藤 憲秀	大野北第1高齢者支援センター	出
23	木幡 一博	大野北第2高齢者支援センター	出
24	萩生田 康治	にこにこ星ふちのべ商店会	欠
25	渡辺 章	淵野辺駅南口商栄会	欠
26	玉城 洋	相模原市農業協同組合淵野辺支店	出

令和2年度 第4回大野北地区まちづくり会議

日 時 令和2年11月24日(火)
午後7時から
場 所 大野北公民館 1階 大会議室

次 第

1 あいさつ

2 意見交換
まちづくりを考える懇談会を振り返って【別紙】

3 出席委員からの情報提供

4 その他

次回日程について

日 時 令和2年12月22日(火)午後7時から
場 所 大野北公民館 大会議室
議題等がない場合は、中止となります。

以 上

令和2年度 大野北地区まちづくり会議委員及び役員

令和2年7月28日現在

1 委員(大野北地区まちづくり会議会則 第4条別表第1)

	氏名	所属団体等の名称	役職名
1	山口 信郎	大野北地区自治会連合会	会長
		大野北地区社会福祉協議会	会長
2	飯田 秀雄	大野北地区自治会連合会	副会長
3	林 知治	大野北地区自治会連合会	副会長
4	脇山 寿満子	大野北地区民生委員児童委員協議会	会長
5	小野澤 行雄	大野北地区社会福祉協議会	会計
6	小川 紳夫	大野北公民館	館長
7	田加井 政男	交通安全協会	理事
8	荻原 ますみ	大野北地区交通安全母の会	会長
9	原田 武久	大野北地区老人クラブ連合会	会長
10	安藤 貴光	相模原市消防団中央方面隊第三分団	分団長
11	竹内 重男	さがみはら国際交流ラウンジ	副代表
12	小方 明	大野北青少年健全育成協議会	会長
13	高橋 美保	青少年指導委員大野北地区協議会	地区長
14	村田 明夫	スポーツ推進委員大野北地区協議会	委員
15	柴沼 敦子	小学校	共和小学校校長
16	馬場 尚子	中学校	共和中学校校長
17	小出 茂	小・中学校PTA	大野北小学校PTA会長
18	平井 昇	青山学院大学	相模原事務部庶務課長
19	河本 真治	桜美林学園	地域社会連携室兼校友課課長
20	白石 一郎	麻布大学	総務部 地域連携課長
21	神谷 恵子	ボランティアグループ	福祉グループ「輪」代表
22	伊藤 憲秀	大野北第1高齢者支援センター	センター長
23	木幡 一博	大野北第2高齢者支援センター	センター長
24	萩生田 康治	にこにこ星ふちのべ商店会	会長
25	渡辺 章	淵野辺駅南口商栄会	役員
26	玉城 洋	相模原市農業協同組合淵野辺支店	支店長

2 役員(同会則 第6条別表第2)

役職	所属団体等の名称	氏名
会長	大野北地区自治会連合会会長 大野北地区社会福祉協議会会長	山口 信郎
副会長	大野北地区民生委員児童委員協議会会長	脇山 寿満子
副会長	大野北公民館館長	小川 紳夫
幹事	大野北地区自治会連合会副会長	飯田 秀雄
幹事	大野北地区自治会連合会副会長	林 知治

まちづくりを考える懇談会を振り返って

○テーマに対する市側の取組状況の説明について

○次年度のテーマについて

○懇談会全体を通しての感想等

大野北地区まちづくりを考える懇談会テーマ

地区のまちづくりに関して、地区でテーマを選定する(原則一つ)。

現在、地区で重点的に取り組んでいるもの。

今後、地区で取り組んでいく必要があるもの。

テーマの概要・内容

概要	公共施設の再整備と既存施設の老朽化対策について
内容	<p>淵野辺駅南口周辺の公共施設の再整備は、大野北地区の長年の課題となっており、平成30年度に策定した「大野北地区まちづくり会議報告書」において、「図書館や公民館等の公共施設を集約・複合化し、再整備することで、大野北地区から市内外へ文化を発信する交流拠点を創る」ことを重点分野の対応方策として取り上げたところである。</p> <p>一方で、新たな検討組織として昨年3月に「次世代に引き継ぐ淵野辺駅南口周辺のまちづくり市民検討会」が設置され、構成員によるグループワークやオープンハウスなど様々な取り組みが行われていることを承知しているが、未だに基本計画などの具体的な方策が示されず、地域住民にとっては、不安と同時に不便さが強いられている。また、歳月の経過とともに既存施設の老朽化が進行している状況である。</p> <p>昨年度の懇談会では、まちづくり会議の構成団体としての視点から、テーマに関連した様々な課題や要望をお伝えしたが、時間的な制約もあり、市側からは踏み込んだ回答をいただけなかったと認識している。</p> <p>そこで、昨年度の懇談会での委員の発言要旨を整理した項目に対する市の考えを伺い、さらに議論を深めていくことで、淵野辺駅南口周辺の公共施設の再整備と既存施設の老朽化対策が確実に前進する懇談としたい。</p>

上記テーマに関する地区の取組状況等

取組状況	<p>昨年度の懇談会では、多くの委員から発言があった。しかし、時間的な制約もあり、市側から十分な回答をいただけなかったことを踏まえ、今年度のまちづくり会議において、昨年度の各委員の発言内容を整理し、次の三つの項目に取りまとめた。</p> <p>【淵野辺駅南口周辺公共施設再整備に関する基本的な考え方】</p> <p>市民検討会において様々な取組が進められていることは承知しているが、まちづくり会議としては、公共施設再整備の基本計画が示されない現状に強い危機感を持っている。また、新市長となってシビックプライド(市民の市に対する誇りや愛着等)の考え方が出てきた。</p> <p>これらを踏まえた、淵野辺駅南口周辺の公共施設の再整備に関する市長の基本的な考え方を伺いたい。</p>
------	---

	<p>【図書館・公民館の望ましい姿とは】</p> <p>市内外へ文化を発信する交流発信拠点として、図書館・公民館は有効な施設だと考えると、再整備した場合における図書館と公民館の望ましい姿とはどのようなものと認識しているのかを伺いたい。</p> <p>【鹿沼公園再整備の考え方】</p> <p>平成 29 年度にパブリック・コメントが実施された時の基本計画（案）では鹿沼公園内に公共施設を再整備する案が示された。また、近隣の相模総合補給廠共同使用区域内に芝生広場や軟式野球場などが順次整備されることが先日公表された。</p> <p>公園施設の経年劣化が著しいことも含め、鹿沼公園の再整備についてどのように考えているのか見解を伺いたい。</p>
--	--

懇談時メモ

項 目	地域でできること、市がやるべきこと、協働でできること